

2023 年度

授業概要

科目名	日常生活活動学演習Ⅱ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	担当学年 時期	2 後期
【授業の目的・ねらい】 疾患別の日常生活活動の評価方法や指導方法等を学び、それらを身につける 臨床実習に生かす MTDLPの基礎を学ぶ							
【実務者経験】 県立職員として38年勤め、その間、発達障害分野を中心に精神障害分野も含む幅広い対象者に対するリハビリテーションに従事している。							
【授業全体の内容の概要】 疾患別の日常生活活動の特徴や方法について演習を通して学ぶ							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 脳血管疾患の対象者の日常生活活動の基本的な方法を指導できる（基本動作、排泄動作、更衣動作等） 頸髄損傷の対象者の日常生活活動の基本的な方法を自分でできる							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	オリエンテーション						配布プリント
2	生活行為向上マネジメント						配布プリント
3	生活行為向上マネジメント						配布プリント
4	生活行為向上マネジメント						配布プリント
5	生活行為向上マネジメント						配布プリント
6	生活行為向上マネジメント						配布プリント
7	リウマチのADL①						配布プリント
8	リウマチのADL②						配布プリント
9	リウマチのADL③						配布プリント
10	大腿骨骨折のADL①						配布プリント
11	大腿骨骨折のADL②						配布プリント
12	神経難病のADL						配布プリント
13	起居動作①						配布プリント
14	起居動作②						配布プリント
15	まとめ						配布プリント
定期試験							
【使用教科書・教材・参考書】 PT・OTビジュアルテキストADL 柴喜崇・下田信明編 羊土社							
【準備学習・時間外学習】 学んだ内容を定着させるため、復習を毎回行う。 実技に関しては、身につけることができるまで、練習を行う。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を40点、定期筆記試験を60点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							